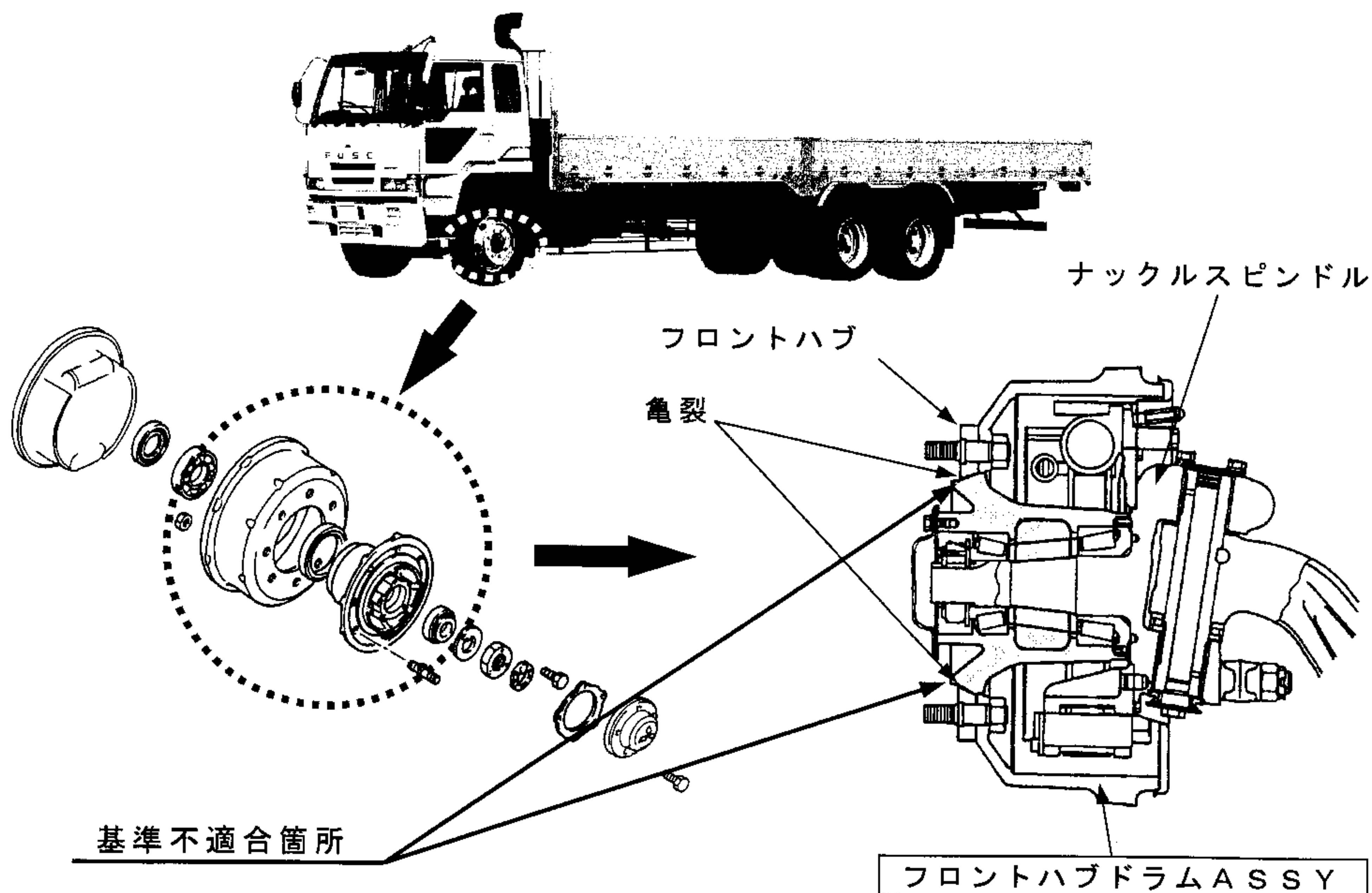


改善箇所説明図



フロントハブの強度が不足しているため、旋回頻度の高い走行を繰り返した場合などに、ハブのフランジ部の付け根付近に亀裂が発生するものがある。また、整備状況、積載条件などの要因が重なると、この亀裂の発生が早まる可能性がある。
このため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、当該部分が破断して車輪が脱落するおそれがある。

改善の内容

全車両、ハブを対策品(現行の最新型ハブ)と交換する。
なお、対策品の全数供給に時間を要するため、当面の暫定措置として、ハブの亀裂の有無を点検し、亀裂のあるものは対策品と交換し、亀裂のない車両は後日対策品と交換する。

注 : □ は、交換部品を示す。

- 識別 : ① 対策品への交換作業実施済み車両に対しては対策作業完了後、Φ9の金色のシールを所定の位置*に貼付する。
② 対策品が間に合わず、暫定措置を実施した車両にはΦ9の銀色のシールを所定の位置*に貼付する。

* : 運転席側ドアリヤピラー部ストライカー下部。